

## 株式投資でも始めよう！...と思って始めていない人へ

## コロナショックからの株式市場V字回復は本物か？

この記事は具体的な銘柄や、売買の推奨をすることはございませんので、読み物として御覧ください。コロナショック前の高値2万4,038円(1月20日)、ショック後安値1万6,552円(3月19日)と下落額は7,531円となります。本記事執筆前後の6月8日終値は2万3,178.10円と1月高値まであと859.9円と迫ってきた。片や足元の経済状態(お財布事情も…)はリストラや事業継続困難など株価とは真逆の動きです。実体経済と株価の乖離が大きすぎるとのニュースも耳にします。日経新聞(6/10朝刊)の記事で衝撃だったのが、3月から6月4日までに日銀が24兆円分のドルをFRBから調達しているということで、歴史的なドル不足が発生しているようです。私は株の指南やFX取引のレクチャーをしたい訳ではありません。ただ、この



世の中に出回るニュースを鵜呑みにして流行りに乗って投資・投機を始めるのは止めて頂きたいと思います。なぜかというと、失う代償が大きいからです。人の性格も10人いれば、10人それぞれ違いますが、金融商品と一般的に言われているものも、千差万別です。売れてるランキングとか、今はこの株を買えなど、美味

しそうな誘い文句は、日常茶飯事です。とは言え我々も金融商品の一種類をご紹介します。紹介している訳ですが、**提案の際はある厳格なルールを社内でも徹底しています。**まずは確実に資産防衛できるモノから。



## 3月のネット証券会社は空前の口座開設バブル？

2月、3月、4月とコロナ自粛の影響もあり、海外、日本の証券会社における口座開設が前年と同期比2~3倍も増加しているようです。SBI証券グループ(540万口座)が野村証券(530万口座)の口座数を超え、楽天証券でも3月の口座開設数が過去最高を記録している。**日経平均株価を支えているのは今や個人投資家とも言えるようですね。**その間、**外国人投資家は売り越し中**、約20年前のITバブル株を始めた時の雰囲気にとともにしていますね。その頃は優遇税制でリターンに対し10%

の課税となり、ダイナミックな株取引を楽しんだ記憶があります。ただ、、、仕事にはなりませんでしたね。まだまだ初心者で日々の株価が気になって気になって(笑)。一応、儲かって一時休止中です。

## それでも株価は変動し、仕事中もメンテナンスが必須。

世の中には、本当に色々な金融商品があります。日経平均が下がったら儲かる商品、不動産物件を証券化した商品など。それこそレアなものを探しだしたら何でも出てくるのではないのでしょうか？ただ、よくよく考えると**あなたが儲かった裏側には損した人がいるし、反対に、あなたが損した裏側には儲かった人がいる。**いつ時代に置いても皆んな儲かるような商品は少ないと思います。つまり欲を出して大きく変動するものに資金を投入し過ぎたり、あの人が良いと言ったから購入した！などが無いようにしっかりとコンセプトを固めましょう。



## 〇〇ショックの歴史から学ぶこと。

110 ONE-TEN

歴史を振り返ると、ちょうど100年くらい前に発生した出来事として、世界恐慌が挙げられる。その後、不景気、好景気を繰り返しながら、日本のバブル崩壊、ITバブルの崩壊、リーマンショック、そして今回のコロナショック…〇〇ショックは定期的にやって来るものだと言うことを認識するしかないですね。ですので、〇〇ショックが発生しても、ショックを受けにくいプランと、リターンを取りに行きたい時にしっかりと増えてくれるプラン。今回を機に株式投資を始める方もいらっしゃると思いますが、日々の上下や定期的な経済イベントで一喜一憂しないように、また全部の資産を失わないように、しっかりと資産形成イメージを持って資産運用をプログラムしたいものです。



Insurance110 Director 才田 弘一郎

香港、シンガポール、日本、アメリカなど各国の保険事情に精通。「出口戦略」を意識した資産運用提案が得意。多数の失敗談も人気です。